



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ホギメディカル

コード番号 3593 URL <http://www.hogv.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 保木 潤一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部 部長

(氏名) 大橋 進

TEL 03-6229-1300

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日

平成27年2月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	26,532	0.5	6,489	△5.8	6,744	△6.5	4,445	△3.0
26年3月期第3四半期	26,408	4.8	6,890	5.9	7,214	8.8	4,582	10.9

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 6,215百万円 (1.6%) 26年3月期第3四半期 6,114百万円 (32.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	282.65	—
26年3月期第3四半期	291.32	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	96,362	80,288	83.3	5,104.11
26年3月期	90,411	75,379	83.4	4,791.96

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 80,282百万円 26年3月期 75,373百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	27.00	27.00	27.00	27.00	108.00
27年3月期	28.00	28.00	28.00		
27年3月期(予想)				28.00	112.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,870	3.1	8,880	1.5	9,070	0.2	5,940	5.5	377.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	16,341,155 株	26年3月期	16,341,155 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	612,233 株	26年3月期	612,011 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	15,729,046 株	26年3月期3Q	15,729,351 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、消費税増税の影響による消費の停滞や、急激な円安の影響などにより、引き続き先行きが不透明な状況が続いております。

医療行政におきましては、社会保障・税の一体改革で描かれた2025年の医療・介護の将来像の実現に向けて、医療機関に対して機能分化を強化した医療制度改革を進めております。

当医療機器業界における経営環境は、この改革の実施に伴い医療機関の二極化及び経営の合理化が促進されるため、各企業においては、市場のニーズを的確に捉え、敏速に対応していくことが求められております。

このような環境の下、当企業集団では、製品・物流・情報管理からなる「オペラマスター」の販売強化とキット製品の販売拡大に注力してまいりました。しかしながら、上期経過時点で業績が予想を下回りましたことを踏まえ、下期より、「オペラマスター」の成長を加速させ業績回復を図るため、新規契約の促進と、契約医療機関のキット製品販売の早期立上げ及びキット製品の内容充実による販売拡大を強化いたしました。

「オペラマスター」の契約状況は、医療機関の経営改善に対する意識の高まりと、「オペラマスター」のセミナー活動等による認知度向上効果もあり、キット製品未採用の医療機関を中心に新規契約28件と順調に推移いたしました。一方、解約は4件で、累計契約件数は232件となりました。また、手術室運営の効率化と医療機関の経営改善に貢献する「手術管理システム」の販売強化に取り組んできた結果、新たな医療機関において採用が決定し現在導入準備を進めております。

キット製品販売は、これまで競合してきた他社との競争や前年に比べ営業日が少なかったことなどが影響しましたが、「オペラマスター」を直近に契約した医療機関での立ち上げ等もあり、売上高は「オペラマスター」を中心に引き続き伸びを示しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、厳しい経営環境の中で26,532百万円（前年同期比0.5%増）となりました。キット製品の売上高は14,176百万円（同3.9%増）、不織布製品の売上高は7,663百万円（同3.4%減）となりました。

売上原価は、円安の影響により前年同期に比べ原価率が上昇しました。販売費及び一般管理費は、効率的な経費の使用に努め、ほぼ前年同期並みに抑えることができました。この結果、営業利益は6,489百万円（同5.8%減）となりました。営業外損益におきましては、受取配当金や為替差益等を計上し、経常利益は6,744百万円（同6.5%減）となりました。特別損益におきましては、固定資産売却益等を計上し、復興特別法人税廃止による法人税軽減があり、四半期純利益は4,445百万円（同3.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は96,362百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,951百万円増加いたしました。流動資産は42,522百万円となり、4,909百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少6,671百万円、受取手形及び売掛金の増加1,964百万円となります。固定資産は53,840百万円となり10,860百万円増加いたしました。うち有形固定資産は41,064百万円となり、8,114百万円増加いたしました。主な要因は、新キット工場建築や機械設備の構築等に伴う建設仮勘定の増加8,983百万円となります。無形固定資産は2,414百万円となり599百万円増加いたしました。投資その他の資産は10,362百万円となり、投資有価証券の取得や時価評価等により2,147百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は16,074百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,042百万円増加いたしました。流動負債は13,589百万円となり358百万円増加いたしました。固定負債は2,485百万円となり684百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は80,288百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,908百万円増加いたしました。主な要因は、当四半期純利益4,445百万円の計上による増加、剰余金の配当による1,305百万円の減少となっております。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の83.4%から83.3%となりました。

### (キャッシュ・フローについて)

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより21,554百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,672百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を 6,786 百万円、減価償却費を 1,983 百万円計上し、売上債権の増加 1,941 百万円、たな卸資産の減少 875 百万円、仕入債務の減少 736 百万円、法人税等の支払 3,510 百万円がありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは 3,615 百万円となり、前年同期に比べ 1,287 百万円減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、新キット工場建築や機械設備の構築等に伴う有形固定資産の取得による支出 7,940 百万円、無形固定資産の取得による支出 972 百万円等がありました。この結果、9,026 百万円の支出となり、前年同期に比べ 7,847 百万円支出が増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等がありました。この結果、1,306 百万円の支出となり、前年同期に比べ 47 百万円支出が増加いたしました。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、約 8,700 百万円の増加を予想しております。投資活動によるキャッシュ・フローは、新キット工場建築と機械設備の費用等として約 9,800 百万円の支出を見込んでおります。財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いにより約 1,750 百万円の支出を見込んでおります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の医療環境は、医療制度改革により大きく変化しつつあり、医療機関においては、医療連携がより強化され機能分化や統廃合が加速されていくなど、経営改善への取組みがより一層進んでいくと予想されます。

当企業集団におきましては、厳しい経営環境の中で、重点戦略である「オペラマスター」の成長を加速させるとともに、キット製品未採用の医療機関へのキット製品販売に注力いたします。さらに、新製品の販売を促進し業績の回復に努めてまいります。

「オペラマスター」の販売では、新規契約の促進に加え、契約医療機関にプロジェクトチームを導入し、キット製品の販売を早期に立ち上げるとともに、キット製品の内容を充実していくことにより販売拡大を推進してまいります。「手術管理システム」の販売では、採用が決定した医療機関への導入を進め年度内に販売する予定です。

また、顧客のメリットを最大限に追求したキット製品を実現するために、新キット工場建設とキット部材等の内製化及びキット製品のリニューアル戦略を進めてまいります。

研究開発につきましては、今後の医療環境の変化に対応すべく、「医療安全」「低侵襲」「病院経営管理システム」「在宅・介護・予防」の4分野を柱に新製品開発を進めてまいります。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想は以下のとおりであります。

(連結業績予想)

売 上 高	35,870 百万円	(前期比 3.1%増)
営 業 利 益	8,880 百万円	(前期比 1.5%増)
経 常 利 益	9,070 百万円	(前期比 0.2%増)
当 期 純 利 益	5,940 百万円	(前期比 5.5%増)

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
法人税等の計上基準

法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,595	21,924
受取手形及び売掛金	10,191	12,155
商品及び製品	3,845	3,563
仕掛品	429	441
原材料及び貯蔵品	3,485	2,966
その他	892	1,476
貸倒引当金	△9	△5
流動資産合計	47,431	42,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,612	11,205
機械装置及び運搬具(純額)	4,808	4,289
土地	9,484	9,479
建設仮勘定	6,551	15,534
その他(純額)	492	554
有形固定資産合計	32,949	41,064
無形固定資産	1,814	2,414
投資その他の資産	8,215	10,362
固定資産合計	42,979	53,840
資産合計	90,411	96,362
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,598	3,887
未払法人税等	1,914	749
引当金	489	190
その他	6,227	8,761
流動負債合計	13,230	13,589
固定負債		
退職給付に係る負債	210	164
その他	1,590	2,321
固定負債合計	1,801	2,485
負債合計	15,031	16,074

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,336	8,336
利益剰余金	60,422	63,562
自己株式	△3,321	△3,322
株主資本合計	72,560	75,699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,297	3,461
繰延ヘッジ損益	529	1,060
為替換算調整勘定	27	102
退職給付に係る調整累計額	△41	△41
その他の包括利益累計額合計	2,813	4,582
少数株主持分	6	6
純資産合計	75,379	80,288
負債純資産合計	90,411	96,362



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	26,408	26,532
売上原価	12,855	13,374
売上総利益	13,553	13,158
販売費及び一般管理費	6,662	6,669
営業利益	6,890	6,489
営業外収益		
受取利息	3	6
受取配当金	60	62
為替差益	134	124
助成金収入	56	46
その他	72	29
営業外収益合計	327	268
営業外費用		
投資事業組合運用損	1	11
その他	2	1
営業外費用合計	3	12
経常利益	7,214	6,744
特別利益		
固定資産売却益	1	47
投資有価証券売却益	96	—
特別利益合計	97	47
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	10	6
特別損失合計	10	6
税金等調整前四半期純利益	7,300	6,786
法人税等	2,718	2,340
少数株主損益調整前四半期純利益	4,582	4,445
少数株主利益	0	0
四半期純利益	4,582	4,445

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,582	4,445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	731	1,164
繰延ヘッジ損益	311	530
為替換算調整勘定	489	74
退職給付に係る調整額	—	△0
その他の包括利益合計	1,532	1,769
四半期包括利益	6,114	6,215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,114	6,215
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,300	6,786
減価償却費	2,110	1,983
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	△3
受取利息及び受取配当金	△63	△68
投資事業組合運用損益 (△は益)	1	11
為替差損益 (△は益)	△133	△139
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△47
投資有価証券売却損益 (△は益)	△96	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,214	△1,941
たな卸資産の増減額 (△は増加)	263	875
仕入債務の増減額 (△は減少)	△393	△736
その他	△234	338
小計	7,530	7,058
利息及び配当金の受取額	63	68
法人税等の支払額	△2,691	△3,510
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,902</b>	<b>3,615</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△990	△7,940
有形固定資産の売却による収入	3	92
無形固定資産の取得による支出	△463	△972
投資有価証券の取得による支出	△300	△216
投資有価証券の売却による収入	556	—
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	9	7
その他	6	3
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,178</b>	<b>△9,026</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△2	△1
配当金の支払額	△1,257	△1,305
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,259</b>	<b>△1,306</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	143	44
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,608	△6,672
現金及び現金同等物の期首残高	22,105	28,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,713	21,554

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社及び連結子会社の事業は、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。